

想い合うってステキ!

ヤクルトと地域をつなぐコミュニケーションペーパー

おもやいっこ

「おもやい」は、「分かちあう」「想い合い」を表す東三河の方言。

みんなが少しずつお互いを想い合い、喜びや感動を分かちあえたらステキですね。

第3号

2014.12

のんほいフォーカス

地域の人たちみんなで取り組み今年で5年。

新城軽トラ市「のんほいルロット」



日本三大軽トラ市の一つとして注目され、全国から大勢の視察団が来る新城軽トラ市「のんほいルロット」。毎月第4日曜日、新城中央通り商店街と亀姫大通りに、野菜や果物、海産物などを荷台に載せた軽トラなどがずらりと並びます。出店数は、毎回70台前後。3000人ほどの人たちが訪れます。軽トラ市開催のきっかけは、10年前、新城市と市民が半分ずつ出資してつくったまちづくり会社の設立。さまざまな活動の中で岩手県の軽トラ市を知り、新城でもできるのではないかと考え、スタートさせました。1年かけて地元の人たちの理解を得、新城市と新城市商工会と市民が一丸となって取り組みました。「たくさんの人たちに向けて商売できることは楽しい。軽トラ市の時には店を開ける商店が増えました」と森一洋さん。物が行き交うだけでなく、情報も行き交い、ますますにぎやかになっていきます。来年11月には新城で、全国軽トラ市が開催されます。

(新城センター 山内悠衣)



「のんほいルロット」とは人に呼びかけるときのこの地域の方言「のんほい」とタヒチの屋台レストラン広場を意味する「ルロット」をあわせた言葉で、人々が行き交う場という意味をもちえています。

のんほいルロット実行委員会
事務局/新城市商工会 新城市字中野15番地10
0536-22-1778



◀お話をうかがった新城軽トラ市「のんほいルロット」リーダーの森一洋さん

